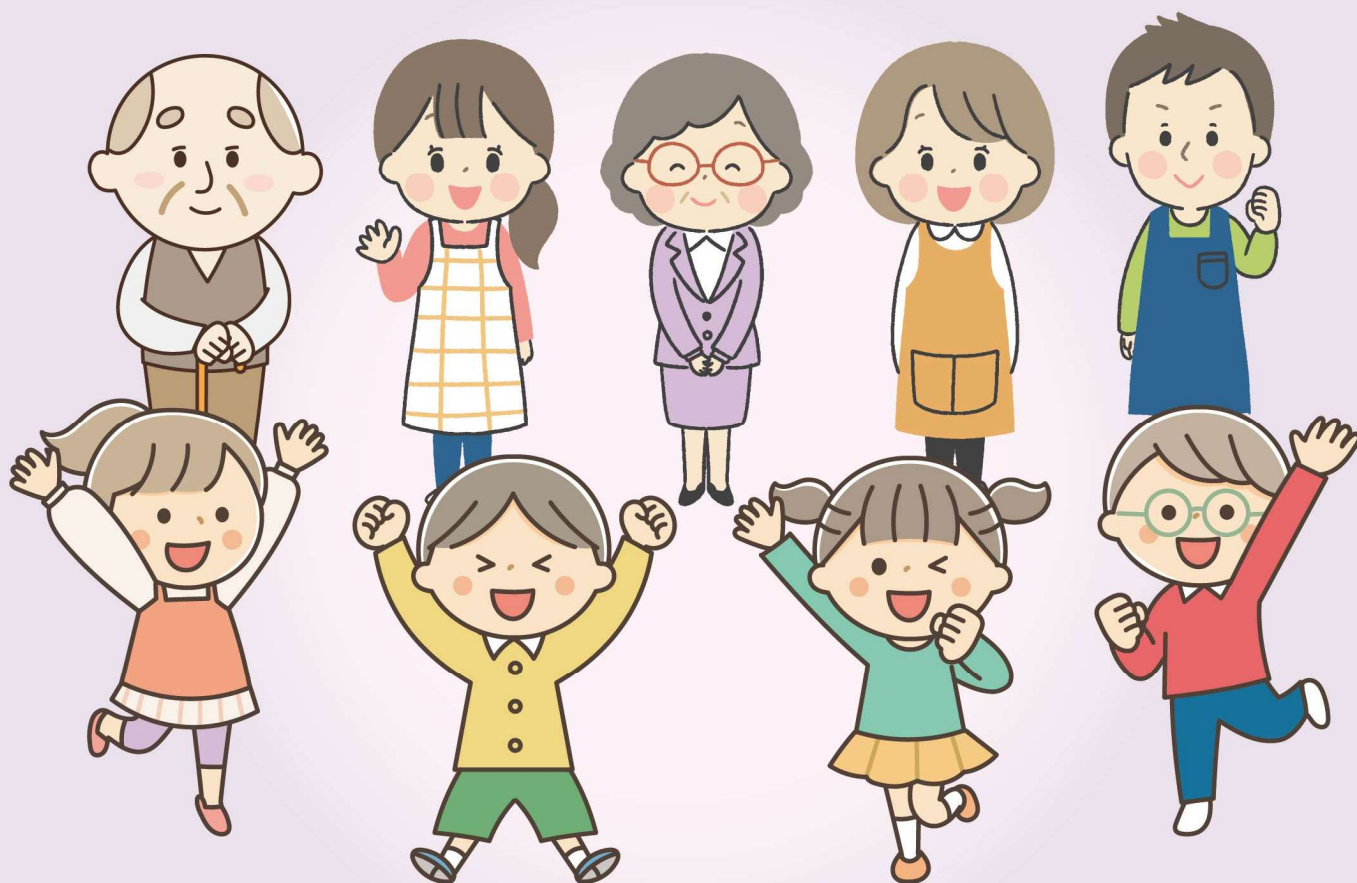


富谷市こども未来応援プラン

令和6年度～令和10年度

〔 概要版 〕



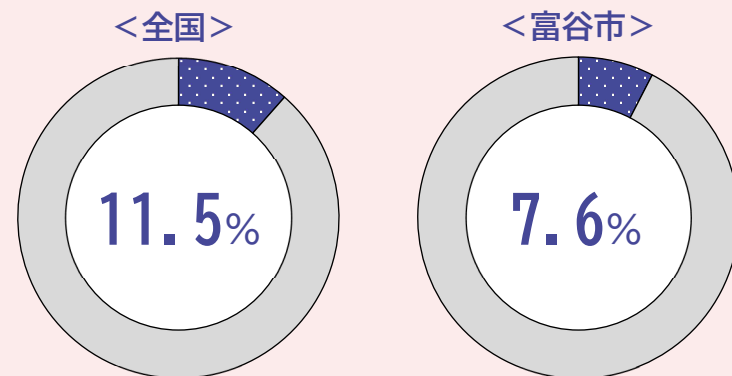
令和6年3月



富谷市

富谷市こども未来応援プラン

○ 富谷市の貧困家庭の割合



出典：国民生活基礎調査

出典：子どもの生活に関する実態調査

富谷市の生活が安定していない子育て家庭の状況として、「こどもの貧困率」は、全国と比べて低くなっています。

富谷市では、すべてのこどもが生まれ育った環境に左右されることなく、安心して生活することができるように、「**富谷市こども未来応援プラン**」を計画しました。

1

やりたいことに挑戦しよう！

すべてのこどもが平等に教育を受け、それぞれの夢に挑戦できるよう支援します。

- ・無料（低額）の学習支援制度
- ・進学のための費用の負担を減らす など



2

大人もこどもも…

安心して生活できるよう様々な支援をします。
放課後や休日は、

- ・とみや放課後児童クラブ
- ・公民館 で楽しもう！



基本理念

「すべてのこどもが幸せを感じ、
将来への夢と希望をもって成長することができる
こどもにやさしいまち」の実現

3

仕事・家計を応援します

生活が安定していない子育て家庭に対し、
家計を助けるための手当の支給や利用料金の
減額などの支援をします。

- ・就職のお手伝いや家計を助けるための手当の支給
- ・利用料金の減額・免除など



4

生活が安定していない方は…

一人で抱え込まずに、まずは相談してみましょう

- ・富谷市子育て支援課 ☎：022-358-0516
- ・とみや子育て支援センター ☎：022-343-5528（とみここ）
- ・せんだい・みやぎヤングケアラーオンラインサロン
https://twitter.com/sendai_YC



ヤングケアラーの悩みも
X（旧 Twitter）から
気軽に相談できるよ！

計画を立てるにあたって

1 計画のねらい

富谷市では、こどもがまちの活動に活発に参加し、こどもの力や声がまちづくりに生かされるよう「富谷市子どもにやさしいまちづくり宣言」（平成 30 年 11 月 20 日）をしました。また、令和 4 年に実施した「富谷市子どもの生活実態調査」により、生活に困っている家庭への支援が重要であることが分かりました。そこで、すべてのこどもが安心して成長できる地域社会を目指す「富谷市こども未来応援プラン」を計画し、教育や生活支援、就職などの支援、経済的支援を総合的に進めます。

2 計画の位置づけ・期間

この計画は、「富谷市総合計画」と連携し、法律やこども大綱に基づいて計画しました。

この計画の期間は令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 年間です。なお、法律や社会の変化に対応し、必要に応じて見直しを行います。



3 「こどもの貧困」とは

「こどもの貧困」とは、18 歳未満のこどもの生活状況が悪くなることです。令和 3 年の日本全体の貧困率は 15.4%で、17 歳以下のこどもの貧困率は 11.5%でした。特に、大人が 1 人しかいない家庭では貧困率が 44.5%となっており、大人が 2 人以上いる家庭に比べて貧困の割合が高くなっています。

4 子どもの生活に関する実態調査を行いました

富谷市は、こどもたちの気持ちや生活のようすを把握し、子どもにやさしいまちづくりを目指した取組に役立てるため、「富谷市子どもの生活実態調査」を行いました。

調査対象：市内在住の小学 5 年生、市内在住の中学 2 年生
市内在住の小学 5 年生及び中学 2 年生の保護者

調査期間：令和 4 年 12 月 16 日～令和 5 年 1 月 10 日

調査方法：学校配付・学校回収（※無記名によるアンケート方式）

富谷市の現状と課題

1 現状～子どもの生活に関する実態調査の結果から～

貧困率の状況

相対的貧困率とは…

同じ国や地域の人とくらべて貧しく、生活が安定していない家庭がどのくらいいるかを表しています。

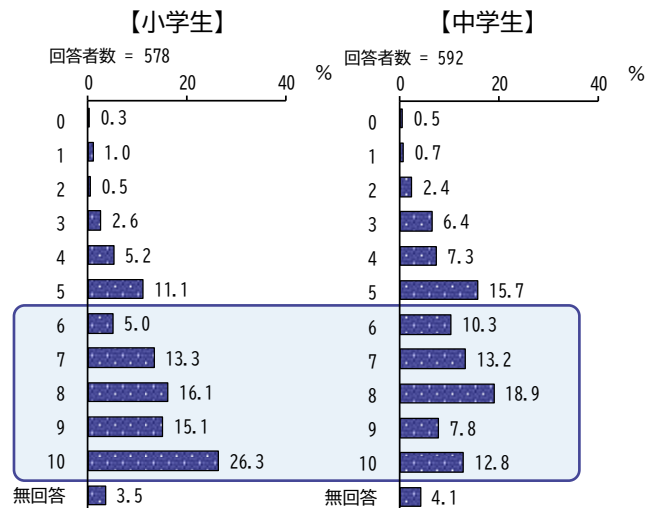
項目		全国	富谷市
相対的貧困率		15.4%	7.6%
こどもの貧困率		11.5%	7.6%
こどもがいる 現役世帯	全体	10.6%	7.6%
	大人が一人	44.5%	40.0%
	大人が二人以上	8.6%	5.9%

出典：全国のみ国民生活基礎調査

富谷市の生活が安定していない家庭の割合は、
全国より低いことがわかります。

Q 全体として、あなたは最近の生活に、
どのくらい満足していますか。

「0」（まったく満足していない）～「10」（十分に満足している）



富谷市内の小学生・中学生は「満足している」人の
割合が高いことがわかります。

2 課題

- 本市のこどもの貧困率は、国の平均よりも低くなっています。生活が安定していないこどもだけではなく、すべてのこどもの未来のために支援する必要があります。
- 各地域にこども食堂など、こどもが安全・安心に過ごせて学習支援や多様な体験ができるこどもの居場所を確保していく必要があります。
- 生活実態調査の結果では、就学にかかる費用がもっと安くなるように支援を求めています。将来貧しくならないよう、教育費の負担を減らすなど、こどもの今と未来を考えた対策を取る必要があります。
- 生活が厳しい家庭では、市の支援制度を知らない人が多いことがわかりました。多くの人に情報をわかりやすく発信する必要があります。
- 生活実態調査の結果では、ヤングケアラーであると思われるこどもたちがいることがわかりました。こどもたちが困っている時に早く助けられるようにするため、相談場所や情報を広める必要があります。



こどもの貧困対策の重点的な取組

基本目標 1 教育の支援

どのような家庭のこどもでも、安心して学校に行けるよう、学校や地域、行政が協力して困った時に助けてくれる人を増やし、困っているこどもを見つけて、必要な情報や支援を提供できるように学校とも協力して取り組む必要があります。

(1) 「学校」をプラットフォームとした総合的なこどもの貧困対策の展開

どんな家庭や地域に住んでいても、困った時にすぐに助けてもらえるよう、学校や保育所(園)、地域、行政などが協力して支援していきます。みんなで情報を共有して、助け合える仕組みをつくります。



めざす姿

困っているこどもが必要な支援につながることができ、助けを受けられるようになる

(2) 教育の機会均等の推進

生まれ育った環境や家庭の経済的な理由で教育を受けられないこどもがいないように、教育にかかる費用の負担を減らし、学習を手助けする支援を行います。



めざす姿

すべてのこどもが教育を受けることができ、自分の力を最大限に伸ばして、好きなことに挑戦できる



基本目標 2 切れ目のない生活の安定に資する支援

【重点目標】

すべてのこどもが安心して生活できるまちをつくるために、地域や行政が協力して、保護者が自立できるよう手助けをします。同時に、困っているこどもによりそい、自立できるように支えていくことが必要です。

(1) 保護者の生活支援

家計状況の心配がなく、安心して妊娠・出産することや、こどもを元気に育てることができるよう、妊婦や保護者が必要なケアや育児のサポートを受けられるように支援します。



めざす姿

妊娠してから子育てまでいつでもサポートを受けることができ、すべてのこどもが安心して育つことができる



(2) こどもの生活支援

こどもが健康に成長するために、正しい知識を身につけて、生涯にわたって健康を大切にすることも育てます。学校の放課後や休日も、安心して楽しめる場所を用意し、こどもが孤立せずに安心して過ごせるようにします。



こどもが自分らしく、安心して過ごせることができ、幸せを感じ成長していくことができる

(3) こどもの就学・就労支援

こどもが将来、自立するために、キャリア教育や学校・仕事について相談できるように支援を行います。



こどもの自立に向け、学校・仕事について、支援を必要とするこどもが相談できるようにする



基本目標 3 職業生活の安定と向上に資する就労の支援

家計状況が安定できるように就労支援や安心して働くことができる環境を整えます。収入だけではなく、家族との時間も大切にできるようにするため、働く環境を保つことが必要です。また、こどもを育てるための必要な費用の支援を受けられるよう情報を伝える必要があります。

(1) 保護者の就労支援

保護者が安心して働けるように支援し、家庭で家族がゆとりをもって接する時間の確保や、仕事と育児を両立できるよう支援に努めていきます。



保護者が子育てと仕事を両立することができ、生活が安定する

(2) 経済的な支援

保護者の就労による収入だけでは不十分な家庭に対し、各種手当での支給を行い家庭での経済的負担軽減に努めます。



子育てをする家庭の生活が保たれるよう、経済的負担が軽減される



基本目標4 こども・家庭に支援がつながる連携支援体制の強化

困った時に一人にならないよう、地域の人同士で声をかけ合い、子育ての情報を共有できる支援が必要です。ヤングケアラーについても、保護者や周りの大人にも知ってもらい、気軽に相談できる体制を整えていくことが大切です。

(1) 早期発見するための取組及び相談窓口の充実

こどもが元気に育つために、困っているこどもや家族を早く見つけ、必要な支援をすることが重要です。児童福祉や母子保健、労働、教育などの関係者が協力して、地域のネットワークの充実を図ります。



めざす姿

生活に困っているこどもや家庭が必要な支援につながる

(2) 連携体制の強化・支援人材の育成

途中で制度や支援が途切れることがないように、地域や学校、関係団体、行政の協力を強化します。



めざす姿

地域でこどもや子育てをする家庭が孤立することなく、必要な支援を受けることができる

(3) 社会全体でのこどもの支援

家計状況の不安やひとり親の家庭、外国人など、支援が必要な人たちを見守り、専門の人たちと協力して適切な支援を行います。



めざす姿

こどもの未来を社会全体で応援・サポートしていく

(4) こどもの貧困対策に関する情報の収集

それぞれの家庭に合った情報を考えて、支援する人たちと行政が協力して情報を伝える仕組みをつくりまします。みんなでこどもの貧困に取り組むための活動を広めます。



めざす姿

こどもや子育てをする家庭に、確実に情報が届き、支援につながる



富谷市こども未来応援プラン 【概要版】

令和6年3月

発行：富谷市 編集：富谷市 保健福祉部 子育て支援課
〒981-3392 宮城県富谷市富谷坂松田30番地
電話：022-358-0516（直通） FAX：022-358-9915

